

井戸端 通信

Vol.29

発行
平成18年3月15日

〒930-0096

富山市舟橋北町7-1

富山県生涯学習力レジン内
自遊塾倶楽部広報部

自遊塾の魅力―福井県友愛塾に招かれて―

自分の想いを現実させる「時間・空間・チャンス」として

副塾長 三辺 咲子

立春2月4日に、福井県の「ライフ・アカデミー生涯学習ボランティア養成講座」にてお話をさせていただく機会がありました。福井県でも、県民のボランティア講師による生涯学習を醸成する取り組み（友愛塾）がスタートしており、その養成講座のひとつに招かれたものです。「自遊塾」や自主企画・講座運営の経験について「自分の想いを実現させる時間・空間・チャンス」と題してお話をした一部と当日の様子を報告します。

◇ ◇ ◇

・私が「自遊塾」の門を叩いたのは……
地方都市は何もなくてつまらないところ？ それならば自分が動いてみたら!? 「富山は何もなくてつまらない」と、都会と比較しては、富山は地味でクリエイティブの少ないところだとばかり感じていました。ある時、ふと「自分は愚痴を言っているだけでは？」と「それならば、自分が動いてみたら!?」と思うことがありました。そんな頃、ボランティア講師募集の案内が目に入り、県民教授に応募。こうして自遊塾の門を叩くことになりました。まず驚いたことは、自遊塾を構成する人たちは、既成を甘受することに飽き足りない知的自由度の高いエネルギーが溢れる人集まりであること。自らアクションを起こすわけでもなく、与えられないことを何もない不足として、富山はつまらない……と決め込んでいた自分自身が反対につまらなく思えました。

・想いと現実を埋める過程が新たな学習
「自らプロデュースできるおもしろさ」と、シナリオどおりにはならない現実、自分の想いをカタチにする試みの結果が、描いていたように、またはそれ以上に

なってきたと、その喜びはひとしおです。また評価をいただいたときは、励みにも自信にもなり、ますます面白味が増してくるようになっています。

一方、講座をプロデュースできるという自由は、それと同等以上に、様々な問題を解決していく能力を磨かなければいけないということでもありました。人の前に立ち、いろいろな面で期待されるニーズに応えていくことができるのか……これを自分で模索し、追究しなければいけないことでもありました。

自分の取得してきたことを皆さんと学ぶ場にボランティアで……とはいえず、ここではパブリックな立場での講師であり、個人の趣味の範囲ではなく、講義運営における責任、そして社会的要求の対象となることへの心構えも必要であることを知りました。

「想い」と「現実」を埋める過程で、悩んだこと、模索したこと、助けてもらったこと、試みたこと……全てのこと、私自身の新たな学習でした。そしてまたこれから先もそうであり続けるのだと思います。

・私にとつての「自遊塾」
「自分の想いを実現させる時間・空間・チャンス」

「あなたにとつての自遊塾とは？」という自分自身への問いに、今の私は「自分の想いを実現させる時間・空間・チャンスのあるところ」であるという答えを出しました。

講座を企画することは、個々のテーマや内容に目が行きがちですが、可能性を試すこと、挑戦することなど、自分を高める学習でもあると考えます。課題を次につなげるための熟考、人とのつながりや新たな展

開、周囲の理解への感謝など、学んだことを伝える体験を通して、たくさんの人・ことに触れながら、自分を磨いていくことを感じます。

また、関わり方次第で多面的な展開が期待できる「自遊塾」は、誰にでも開かれており、生涯学習のボランティアリーダーとしての役割を担う県民教授を中心に、ここに携わる人々と新しい広がりを作っていくことが全体の質を高めていくのだと思います。

◇ ◇ ◇

質疑応答では次々に手が上がり、質問に留まらず積極的にご自身の考えを発言される雰囲気、自主企画講座への関心の高さと期待がうかがえました。拙い講師の話にも耳を傾けてくださった皆さんに感謝し、今後も両県の交流が深まることを願いつつ帰途につきました。

私たちも、富山が全国に先駆けた「自遊塾」の理念を軸としながら、常に進化し続けなければならないことを、自遊塾10年のターニングポイントに重ねて感じた一日でした。



2005 自遊塾の魅力 スポットライト ボランティア講師として 講座を終えた感想を紹介します。

旧立山街道を歩き、石仏と語ろう！

岩井 宏

何気なく見つけた、県民教授募集の案内に今までやってきた立山博物館のボランティアガイドの経験を生かし、一般の人々に立山信仰、往復路、禅定路、石仏道標を案内しようと思ったのが1年前のことでした。今講座を終えて感ずることは、受講生が熱心だということ。集合時間の20分前位に集まり、私の話を真剣に聞き、メモを取っていました。回を重ねるごとに、熱気が高まる感じが感じられました。また受講生が多士済々にわたり、色んなところで特技を発揮し、講座を盛り上げてくれました。そして、講座が終わっても別の会を組織して、レベルアップし、受講生同士の交流を深めたいそうです。どんな縁があったのか知りませんが、大事にし、はぐくみたいと思います。



あなたにも出来るデジカメセラピー

三木 文

初めての講座を終えて、言葉で説明することのむずかしさを思いました。自分では理解しているつもりが、うまく表現できない事が多々あり、それをメンバーの方達に支えられて、その思いやりの心がセラピー

に通じるのかと反対に教えてもらった様に思います。

メンバーの方達それぞれの方が自然や生き物を愛情を持って素直に写していらっしやいました。

撮ることが楽しい。私もその気持ちを大切にしていきたいと思っています。皆様ありがとうございました。

チンドンで愉快に演奏！

田辺 桂也

8回にわたる講座。トータルで9割程度の出席率でしたが、終盤に大きな寒波の到来もあり、足元が悪くなったことも影響したかなと思います。いすれにせよ、こんなつたない講師に、よく最後までお付き合いいただいたこと、受講生の方々に感謝致しております。実感として、初めて受講された時と比べ、

様々な地域と職業、年代を超越し、受講生相互の交流が図られたこと、そして、最後はかなり「いきいき」した顔をしていたことが印象に残りました。



ドイツの魅力に触れよう

平岡田鶴子

講座を始める前はいろいろと心配しましたが、お陰様で無事に終了することができました。

結構出席率もよかったのではないかと思います。また、はるばる富山市から魚津まで通われた方、悪天候にもめげず出席された方など、本当にご苦労様でした。

講座では、ドイツの食べ物や味、DVDやドイツ語の歌を歌ったり、DVDやデジカメの写真を見たりしてドイツの魅力に触れることができたのではないかと思います。また、魚津市国際交流員のマーティンさんにも大変お世話になりました。ありがとうございました。



歌と文化で学ぶ韓国

折田 真一

富山に来て2年目の秋。県民カレッジの存在すら知らず、何か自己研鑽の場を探していた私の元に「自遊塾」の案内が来て早いもので1年が経ちました。講座開始当初はまったくの手探り状態ではじめた講座ではありましたが、受講生の方々の熱心な受講姿勢にこちらも顔を正され、私自身も学びの場となりました。独自に編集して差し上げた音楽CDが受講生の方々に好評だったようです。これからも更に隣国の理解促進のサポートをしていければ幸いです。スタッフの皆様いろいろとご協力いただきありがとうございます。

はじめての雅楽（龍笛編）

若林 昌人

私が自遊塾の講座を開設した目的は、雅楽のおもしろさを一人でも多くの人に知ってもらうことでした。舞楽のイメージは、『難しく良くわからない』というのが一般的なのではないでしょうか？実際には、管絃の演奏はオーケストラであり、舞楽はミュージカルであり、現代の音楽とさほど変わらないのです。

講座では、龍笛の実演の他、楽譜、装束、曲のエピソード、風水や陰陽道に関する話題等を交え、お話を致しました。受講生の皆さんは、『雅楽はおもしろい！』と思って頂けたでしょうか？

健康と食生活

澤井 保子

「心身の健康の源は食生活にある」このことを多くの方に知って頂きたいと思いこの講座を始めました。

食品会社に研究員として勤務している関係から、講座は土日に設定していますが、熱心な方、休みがちの方、色々ですね。皆さんから率直な意見、要望を頂きながら、また大学の講義みたいだと批判とも賛美ともとれる感想を頂きながら、また塾生の方々の世間話も楽しく、何とか無事に3年間続けることが出来ました。時間的に大変なこともありましたが、今必要ことを今知って頂きたいとの一念で奮起してきました。これからも身近な話題を取り上げ更に魅力ある内容にしていきたいと思えます。



2006 自遊塾の魅力 スポットライト

新たに講座を開く県民教授を紹介します。

古文書に親しみ、有名な墨跡を説こう！

新井 康平

とやま県民の皆さんの中で、古文書を読むことに興味を持っていらっしゃる人は多いと思います。しかし一字一文字を判読するよりも、大意を把握しながら読む、古文書の理解が早いのです。第二は、よく出てくる『契体仮名』のルーツを理解することによって、割合早く古文書が読めるようになります。私の経験を活かして、みなさんで工夫しながら読みましょう。

私は現在、放送大学の富山学習センター（小杉）で、人間探求講座を専攻して、新聞や雑誌を切り抜いて古文書の実地研修をしています。材料を入手するために、時には自家用車やJR電車を利用します。

めざそう遊び師！我ら子ども遊ばせ隊

早川 隆志

自然の中を縦横無尽に駆け、技を駆使して競い合い、仲間を惹き込みながらかわって遊ぶ「昔遊び」を伝承することは日本の大人の大きな役割ではないでしょうか。現在、子ども達も勉強や習い事中心のスケジュールに縛られ、遊びが奪われています。それを奪っているのが大人です。遊び時代を失えば子どもはどのような子になるのでしょうか。友とコミュニケーションする力を無くし、心を病みやすく切れやすくなるのも遊び時代をなくしたせいではないでしょうか。この講座では、早川たかしが教師生活30年の中で培ってきた遊びの技や流儀をみなさまにたっぷり伝授いたします。そして「子ども力」遊び力、身に付けた「遊び師」が、日本の子どもの未来を開くことになるのです。共にたっぷり遊び楽しみましょう。



コーチング・コミュニケーション入門

Let's enjoy コーチング、遊道 直美

はじめまして。皆様と出会う機会を得たことに感謝しています。

コーチングとは、「会話を通じて相手が自ら考え、答えを見いだし、それを自発的な行動に繋げていく。相手の成長や目標達成をサポートするコミュニケーションスキル」です。ビジネスでは、目標達成や部下管理に用いられることが多いのですが、技法だけではなく、「相手の力を信じ100%味方になる」という想い（マインド）も大切です。

「今日帰ったらやってみよう」という行動が種子となって、「一人ひとりの花を咲かせる。日常生活やコミュニケーションにコーチングを活かし、happyの輪を一緒に広げていきませんか？ Let's enjoy コーチング」

バルーンで動物、花を作ってみよう

杉山 吉宏

地域イベント、児童会イベントなどでバルーンを作ると大変喜ばれる。そんな姿を見て5年前に自遊塾を受講。今では各種イベントで子供達に大人気です。子供達の喜ぶ顔を見ていると、こちらまで楽しくなります。元気をもらっている感じがします。



横笛 聴いて 吹いて 癒される

羽岡 優子

音楽には、人を癒す力があるとされています。中でも、澄んだ音色の横笛は、初めて聞いた時から懐かしく心に響くようです。

時代劇のヒーローやヒロイン達が、その秘めた思いを笛に託してきたように、私達も、時には心の世界に遊んでみたいものです。日本の代表的な唄「さくら」も、一人一人が違う「さくら」を心の中に持っているのではないのでしょうか。



リズムや音程さえも気にせず、自分の「さくら」を吹いた時、新しい自分に出会えるかもしれません。そして、それが本当の自分かもしれない。楽器が苦手でも、息のできる人なら笛を吹くことができるはずです。

ブレイン・プラント・ポエムでいきいき

関 理乙子

はじめまして、自遊塾への参加は全く初めてになります。関理乙子と申します。

指導分野は園芸関係と文学関係ということとで、植物の基礎と詩作を指導致します。講座の最後には詩集を一冊完成させることを目的と致します。

この講座を元に、高岡に一つ新しい文学会が誕生してくれたら幸いです。グループで共に活動する中、友達作り、人生の生き甲斐を見いだして頂けたら私の講座も成功でございます。共に有意義で楽しい一時を持ちましょう。

越中の山野草と温泉を楽しもう

（初級・入門者） 城方 寿保

山には学ぶことがいっぱい、山野草は何となくとても非常に数が多い、各々特徴ある見事な美しい色、形といふ深い感銘を与えます。

高い山へ行けば行く程に色濃く鮮やかで、こんな所によく生えるものと思われ、瓦礫の中にとっても可愛い小さな花が開いています。不思議な位、色と言ひ、形と言ひ美しく可憐な花、高山一面のお花畑は本当に見応えがあつて、何と自然と言ふものは偉大と言ふか素晴らしいなあと思ひます。山には多くの植物が存在し、可愛い鳥や動物も勿論、美味しい山菜や薬草も沢山あり、春の新緑、秋の紅葉は何時見ても飽きることもなく感動します。森林浴は精神的な安らぎを与えられると言ひ、散策は足腰を鍛え、健康づくりに、山の恵みは甚大であり宝の山と言えます。大切な自然環境を大事に守り、山のマナーを守って有効に生かし楽しみたいものです。

各地の民謡をたずねて

長谷川益雄

民謡は心のふる里遠い祖先から唄い伝えられ明日への息吹として生活の中に親しまれております。私が民謡と出会って五十有余年。県内外のどの自慢大会に数々優勝し、昭和三十七年には八尾小原のど自慢に優勝し、あるいは富山県民謡名人会に名を置いて、NHKの民謡をたずねての番組に出演し、芸は身を助けると云う楽しい人生を送ってきました。

又、定年前は旅行社に勤めており、お客様に喜ばれ、仕事に励みを持ち、人の喜びに自分が喜び、生かされる感謝の気持ち一杯でありました。受講者の皆様も発達段階に合った学習をされ、充実感を得ながら社会参加をされますよう願っております。

語り伝えよう「ふるさと」の民謡

奥井 悦子

私たちの祖先が、ふるさとを愛し永く語り継いできた民謡を次代を担う子ども達に伝えよう、思いが叶ってこの度講座を聞くことになりました。

幼い頃、祖母からよく昔話を聞きました。同じ話を何度となく聞くうちに覚えて間違いを指摘したり、子守唄のように聞き眠ってしまった。心の安らぐ思い出がたくさんあります。今は、核家族で共働き、趣味が多様化して昔話を聞く機会が少なくなりました。

講座で共に学び、祖父母の代役として生の声を語りましょう。ふるさとの良さ、素晴らしさを伝え、子ども達がふるさとを良く知り、愛し、夢と希望と勇気を持った豊かな人間に育つよう願ってやみません。一緒に楽しく語りましょう。



県民教授が取り組む多彩な

ボランティア活動を紹介します。

NPO法人富山の名水を

守る会を立ち上げて

名水探検発見

岡岸 喜義

平成十年から名水探検発見の県民教授として今日に至っています。お陰様で多くの塾生の方と交流を持たせて頂き感謝感激のこのころです。



毎年私の自遊塾が終了してから交流の活動が開始されます。飲み会、食事会、そして日帰りや一泊での他県への名水探検です。その度に親密な友情が築かれました。このような環境から、この行動を少しでも社会に還元しようという総意で、NPO法人富山の名水を守る会を立ち上げて頂きました。

ここまでの道のりは、多くの仲間の力あつての賜物と心から感謝しています。この灯火を長く継続させることが私に与えられた責務と意を決しています。また自遊塾があるからこそ出来た事とあらためて自遊塾に感謝いたします。

消費生活に関する情報提供に携わって

知って得する生活情報・くらしの

ワンポイント！

串田 和博

消費生活関連の業務に携わって20年。富山県に戻った01年からは地域の高齢者学級、婦人会、生涯学習講座、民生委員やヘルパーの方々の研修会等、消費生活に関する情報提供をすると共に一緒に



学んでいます。参加者の顔ぶれ、人数、時間帯、会場の雰囲気等が毎回異なる事から、それなりの苦労もありますが、自遊塾で塾生の方々から受けた激励や要望を生かしながらお話しさせて頂いています。自遊塾で共に学んだ事が私の活動の原点となっています。

県民カレッジ自遊塾と

たかおか学遊塾の魅力

発見!! 越中国の埋もれた歴史 明神 博幸

富山県に自遊塾があるのと同様、高岡市には「市民大学たかおか学遊塾」がある。今年度も私は両塾で郷土史の講座を開いた。「県民」「市民」が自主的に企画する講座であるという点で両塾とも共通し、活発な講座活動が展開されている。



私の講座に関しては、特に自遊塾は広い地域から塾生が集まるので、さまざまな視点から講座内容を磨かせることができ、かつ議論を通じて塾生相互の理解も深まり、とても刺激的であった。これこそが自遊塾の特色であり魅力なのである。一方で学遊塾は「人づくり、街づくり」を目的に掲げていることもあり、講座では高岡市を客観的な視点で捉えることに重点を置いた。また学遊塾では運営の大部分を自分たちで行わねばならず、いささか大変なのだが、これもまた魅力なのである。両塾ともそれぞれの特色を生かして発展し続けるのであろうから、私も微力ながらお役に立ちたいと願っているしだいである。

生と死を見つめてシンポジウムを主催して

いのちを見つめて生と死

— スピリチュアルケア — 豊原 則子

《あらゆる世代にデスエデュケーションを》の想いを込め、昨年10月、県民会館大ホールでアルフォンス・デーケン上智大学名誉教授の講演「いのちの尊厳を考える」死への準備教育とは」と「幼児期から生涯にわたって求められる「いのちの教育」のシンポジウムを、幼児から大学生までに実践されている先生方からその内容と成果を紹介して頂いた。医療学生や福祉大学の団体受講。小、中、高校生、自遊塾生、教員、宗教者、福祉活動者と多彩な参加者に恵まれた嬉しい会でした。



寄稿

福井県友愛塾からのメッセージ

学びの輪を広げていきたい

福井県生涯学習センター職員(友愛塾担当)

吉田 郁子

雪の降る寒い日でしたが、三十数名の塾生が、熱心に三辺さんの講義に耳を傾けていました。

受講生は主に、四月から講師として活動しようと思っている人達、二年目・三年目を迎え、自分の講座をどう改善しようかと考えている人達ですが、自遊塾の楽しい雰囲気や塾生と共に作りあげる充実した講座の様子をお聞きして、気持ちを新たにしたいようです。三辺さんのお話しぶりから、経験者としての自信と常に前進しようという強い想いを感じ取りました。

福井の「友愛塾」は歩み始めたばかりで、今後いろいろな課題にぶつかるとは思いますが、

まず、先進的な取り組みをされている自遊塾の皆様と交流させていただきながら、学びの輪を広げていきたいと思っています。

自分の想いの実現と双方向の交流の場

友愛塾県民講師 玉井 道敏

三辺さんの講義は、富山の自遊塾での6年間の体験、実績をきちんと整理され、わかりやすく、爽やかに話され、福井の友愛塾で講座を持つものとして大いに刺激を受けました。ごく普通の一市民が、自分が身につけた技や知識を色んな人に伝えていくとともに、それらを素材にして人々の交流の場を作り、その場を通して自らも成長していく過程がよく理解できました。

私は福井県の友愛塾で「福井の伝統野菜を知ろう」という講座を持っていますが、自分では企画、段取りをするだけで、実際の場では、伝統野菜の生産者にその作り方や料理方法を話してもらっています。ですから、私は常に生徒の一人でもあるわけです。県の農業技術者としてこれまでに蓄積してきた人脈を生かして、伝統野菜という講座を仕組んでいることになりました。

三辺さんや福井の友愛塾でも若い講師の方々は、自分の想いを実現させる場として、さらに先生と生徒、双方向のやりとりを大切にしながら、大変柔軟に塾の場を活用されていることに感心しています。

富山県の自遊塾も福井県の友愛塾も、今後一層、多様な進化を遂げることを期待し、また県民講師の一人として努力していきたいと思っています。

ご意見、ご感想、投稿など
お待ちしております県民カレッジ
自遊塾係

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
TEL 076-441-8401
FAX 076-441-6157
E-mail: admin@tkc.pref.toyama.jp
http://www.tkc.pref.toyama.jp/